

半促成栽培に適する緑肉メロン「イバラキング」 (品種登録出願中)

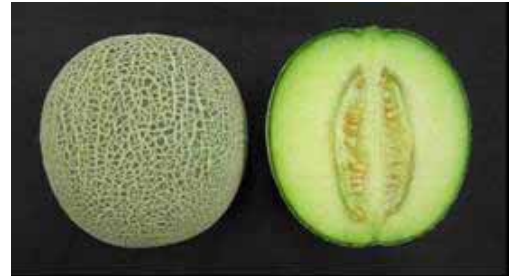
みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター生物工学研究所
園芸研究所

県内の半促成栽培に適した緑肉メロン「イバラキング」を育成しました。果実は低温でも良く伸長する性質があり、既存品種より大きくなる傾向にあります。日持ち性も優れています。また糖度が高くさっぱりした甘さで食味が優れます。

果実の特徴

果実肥大性は「アンデス5号」より優れ「オトメ」と同程度です。果皮は緑色が比較的濃く、ネット発生は「アンデス5号」と同程度に密で盛り上がります。糖度は安定して高く、さわやかな甘さと滑らかな肉質で、食味が優れます。また「オトメ」と比べて日持ち性に優れ、うるみの発生が少ない品種です。



イバラキングの果実

メロン「イバラキング」の果実品質 (H17~19: 生工研)

品種名	果実重 (g)	果形比 ¹⁾	ネット ²⁾		硬度 (kg) ³⁾		糖度 (Brix%)
			密度	盛上	収穫日	7日後	
イバラキング	1106	0.99	3.7	3.7	1.15	0.78	15.5
アンデス5号	892	0.98	3.2	3.3	1.18	0.86	15.2
オトメ	1019	0.98	3.6	3.4	1.16	0.62	14.2

1) 果形比 = 果高/果径、2) 密度: 密(5)~粗(1)、盛上: 高(5)~低(1)
3) 果実硬度計(木屋・円錐型 12mm)による果肉中央部貫入抵抗値

生育の特徴

雌花着生率・着果率は「アンデス5号」「オトメ」と同等に高く、開花日は「オトメ」より遅いが、「アンデス5号」よりは早くなります。受粉から収穫までの日数は「アンデス5号」と同程度かやや短く、収穫終了時の葉の大きさ、遊びづるの長さは「アンデス5号」よりやや小さくなります。



交配間近のイバラキングの草姿

栽培上の留意点

- ・ ネット発生が不安定な場合があるので、ネット発生期の低温や土壤水分の急激な変化を避けることが必要です。
- ・ つる割病レース0、2 に対しては抵抗性がありますが、レース1、1,2w、1,2y には抵抗性(耐病性)がありませんので、発病圃場では土壤消毒を実施し、接ぎ木栽培を行う必要があります。
- ・ 果実の成熟日数は58~60日程度で、「アンデス5号」より1~2日少ないですが、早切りは避け、必ず試し切りをしてから収穫します。
- ・ 具体的な栽培方法については、「イバラキング」栽培マニュアルを参照して下さい。